

市長杯市民ソフトバレーボール大会

「小学生の部」ルール（2025年度版）

市長杯市民ソフトバレーボール大会「小学生の部」でのみ適用されるルールについて以下にまとめる。公式ルールと市長杯ローカルルールが混在するので注意すること。

1. サービスに関するルール

(1) 小学校4年生以下の選手は、ショートサービスゾーンからサービスをすることができる。
【公式ルール】

(2) 小学生選手の場合、トスしたボールがサーバーの身体に触れないで床に落ちた場合は、1回だけサービスをやり直すことができる。【公式ルール】

2. アタックヒットに関するルール

(1) ラリー中に小学生選手が1回もボールに触らずに相手コートに返球した場合は反則となる。
【市長杯ローカルルール】

3. 大人に関するローカルルール

(1) 大人の選手はエンドライン後方、両サイドライン間で、踏み越したりしないでアンダーハンドでサーブを行う。(回転をかけたり、天井サーブは不可とする。)ただし、ゲーム中に両チームを通じて1回目に行われたアンダーハンド以外のサーブについては警告とし打ち直しを行い、2回目からは反則となる。

(2) 大人の選手は肩から下のアンダーハンド(手の平がパーでも可)以外でボールを触った時点で反則とする。また、シグナルはアタックヒットの反則とする。
(大人の選手は、オーバーハンド、ブロック、アタック全て反則とします。又、アンダーハンドにおいても回転をかけたり、天井に高く上げたりするプレーも反則とします。反則となる高さは常識的に小学生にとりにくくする為の攻撃的な高さとしします。)

(3) 小学生の為の試合になりますので、小学生をメインにプレーするようにお願い致します。また、大人の選手は子供の手本になるように必要以上のアピールやヤジは行わないようにお願い致します。

以上